

2018年12月1日～2021年9月30日までに、当院にて自由呼吸下ダイナミックMRI検査を実施した方  
または、2015年1月1日～2018年10月31日に、当院にて呼吸停止下多時相ダイナミックMRI検査を  
実施した方へ

## 研究実施のお知らせ

研究の題名：自由呼吸下ダイナミックMRIの有用性に関する検討

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2021年12月31日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 医員 舟山 慧

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の目的と意義について】

ダイナミックMRIは腹部の造影MR検査で一般的に行われる検査です。ダイナミックMRIは通常「息を止めた状態」で撮影します。しかし撮影中に息を吸ってしまったり、お腹が動いたりすると被写体ブレのような状態となり、きれいな画像が得られません。実際、当院のダイナミックMRIでは約2割の患者さんがきちんと息を止められなかったために不十分な画質の検査となっています。この問題を解決するため、我々は息を止める必要のないダイナミックMRI（自由呼吸下ダイナミックMRI）の撮影方法を開発しました。この研究は、自由呼吸下ダイナミックMRIの有効性を評価するものです。

### 【研究の方法について】

本研究では、新たに開発した自由呼吸下ダイナミックMRIを用いて撮影した画像の画質を評価し、臨床で使用できることを確認します。

### 【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

① 2018年12月1日～2021年9月30日までに、当院にて自由呼吸下ダイナミックMRI検査を実施した方（前回のMRI検査で息止めがうまくできなかった方を対象とします。）

または

② 2015年1月1日～2018年10月31日に、当院にて呼吸停止下多時相ダイナミックMRI検査を実施した方

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報（年齢、性別、体重、診断名）、ダイナミックMRIで得られた画像データ

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

### 【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

### 【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【利益相反について】

この研究には費用は発生しません。

本検査に使用するソフトは、GE ヘルスケアジャパン株式会社と共同開発されたものですが、本研究にはGE ヘルスケアジャパン株式会社からの資金提供はありません。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利害の衝突」は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

#### 〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部放射線医学講座

医員 舟山 慧

メールアドレス：sfunayama@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6744